

未来に残そう青い海ボランティアチーム講習会での挨拶概要

皆さん、こんにちは。

第三管区海上保安本部環境防災課課長の中村です。よろしく申し上げます。講習会の開催にあたり一言挨拶をさせていただきます。

まず皆さんには、平素から当庁の海洋環境保全活動にご理解とご協力を頂き、改めましてこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、今日はボランティアの皆さんへの恩返しとしまして、日頃皆さんから頂いていた要望を踏まえ部外講師による「話し方講習会」をメインとしまして中島専門官や小倉係長の講習や実習を企画しましたので是非楽しんでください。

以前の講習会のときもお話しましたが、私たちが未来に青い海を残していくためにできること、しなければならぬことって何だろうと考えたとき、一人ではできないことも多いのですが、志を同じくする者同士が協力すれば行えることもあります。それが、今の皆さんと海保の関係だと思えます。そのような官民が協力して次の5つの事を実践していくことが大切だと私は思っています。それは、

平素から海をよく見ておくこと（監視、通報）・・・官民でできます。

汚れた海はきれいに掃除すること（防除）・・・これも同じです。

水質や海底の改善も必要なこと（再生）・・・これは官が中心でしょう。

海を汚さないようにルールを作り、守らせること（規制、取締り）・・・これは官だけしかできませんね。

そして、私が大切だと思っているのが、

いつまでも綺麗な海を残す大切さを育み広めること（啓発、広報）・・・これは官民でできますが、海保のような官庁には弱点があります。

それは、我々が制服官庁であり一般市民には「親しみ易さがない」「近づき難い」存在だということです。それを皆さんにカバーしていただき、子供や一般市民の方々に接していただいて海洋環境の啓発活動と広報活動をしていただき、大変助かり感謝しております。お陰様で、皆さんの活動は非常に好評であり、各イベント会場では、他機関からも「海保さんが羨ましい。」という声も沢山聞こえてくるほど、我々も誇りに思う存在であり、お互い信頼し合える良きパートナーシップができていると感じています。

今後は皆さんの活動がより広く世間に知られ認められるような活動支援・工夫も考えて行きたいと思えます。

最後になりましたが、皆さんには今後も明るく、元気で、楽しいボランティア活動をお願いするとともに本講習会が皆さんにとって実り多きものとなりますよう祈念しまして私の挨拶といたします。